

資料N0. 2-1

渋川市立小中学校の現状と 適正規模・適正配置の検討について

令和7年7月17日（木）

渋川市教育委員会 教育総務課学校再編推進室

次第

1. 渋川市における小中学校適正規模・適正配置の概要
 - (1) 目的
 - (2) 「基本方針」と「基本計画」
2. 渋川市立小中学校の現状
 - (1) 渋川市の人口の推移と推計
 - (2) 渋川市の児童生徒数の推移と推計
 - (3) 小学校の状況
 - (4) 中学校の状況
3. 問題・課題と目指す教育
 - (1) 顕在化している問題・課題
 - (2) 市が目指す教育の方向性
 - (3) 適正規模・適正配置によって実現したいもの
4. 基本方針における主な検討論点（案）
5. 今後の検討スケジュール

1 渋川市における小中学校適正規模・適正配置の概要

(1) 目的

1. こどもたちにとってより良い教育を提供すること

- 児童生徒数の減少に伴い顕在化している諸問題を解消すること
- 将来的な学校周辺環境の変化を見据えた教育に適応すること

2. まちづくりと連動した、地域とともにある学校を実現すること

3. 学校（教育）を持続可能なものとする



小中学校適正規模・適正配置の「**基本方針**」と「**基本計画**」を策定し、長期的な見通しに基づく計画等の推進により、上記目的の達成を図ります。

※「適正規模」「適正配置」については、以下のように定義しています。

- ・適正規模：渋川市が目指す教育を実施するにあたって、望ましい学校の規模（主に1校当たりの学級数）
- ・適正配置：適正規模を実現し、かつ上記の目的を達成することができる学校の配置

(2) 「基本方針」と「基本計画」

① 渋川市立小中学校適正規模・適正配置「基本方針」

◆ 学校施設の適正規模・適正配置、こどもや地域にとってあるべき学校像の基本的な考え方を示すもの

- 渋川市が目指すべき学校像
- 適正規模や適正配置の考え方
- 具体的な検討に向けた視点・論点

等

② 渋川市立小中学校適正規模・適正配置「基本計画」

◆ 各学校の適正規模化に向けた具体的な方策や、長期的な推進スケジュール等を示すもの

- 適正規模化に向けた学校ごとの方策（再編統合）と実現に向けたロードマップ
- 適正規模化に際して行うべき学校施設の改修や複合化等の手法

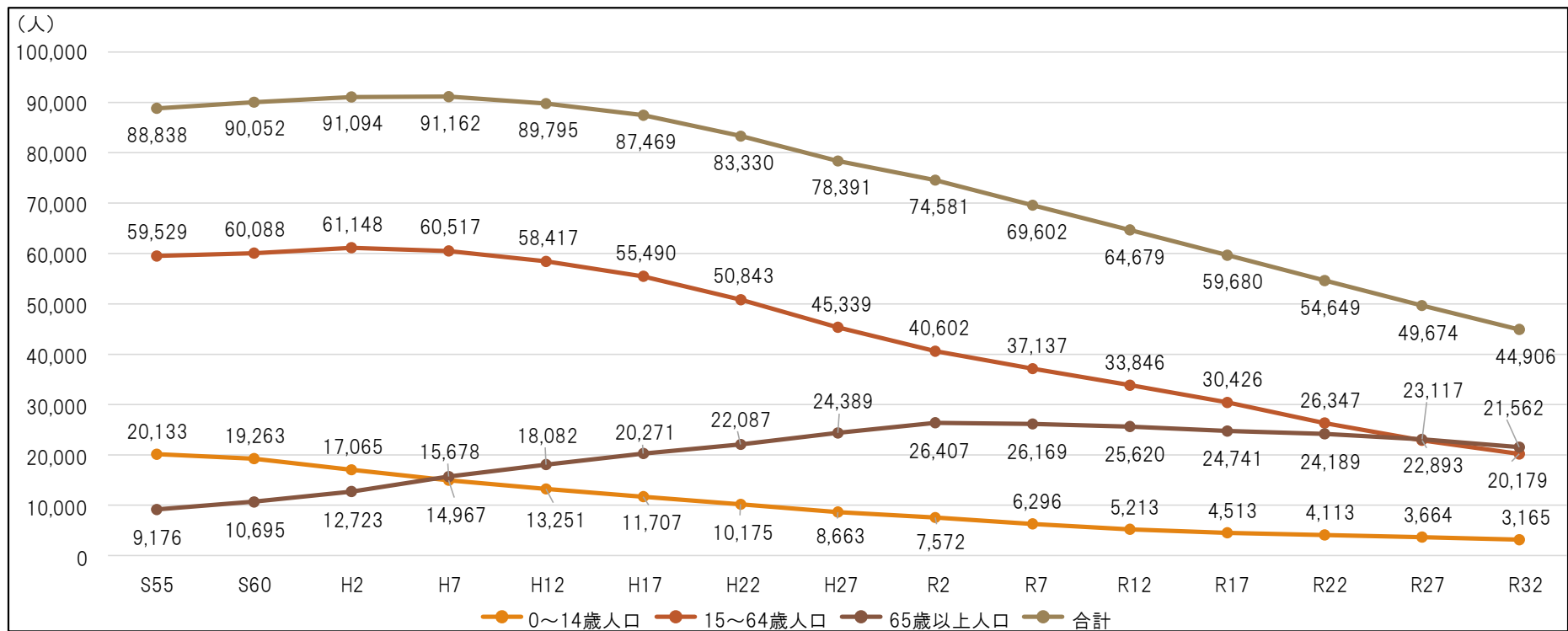
等

※基本計画の検討は、地域ごとに設置する検討組織での検討と平行して行う予定です。

※基本方針⇒基本計画という推進手法については、文部科学省「学校の適正規模・適正配置及びより良い教育環境の実現に向けた部局横断的な検討体制による学校施設に係る計画策定事例に関する調査報告書」において示されるモデルを参照しています。

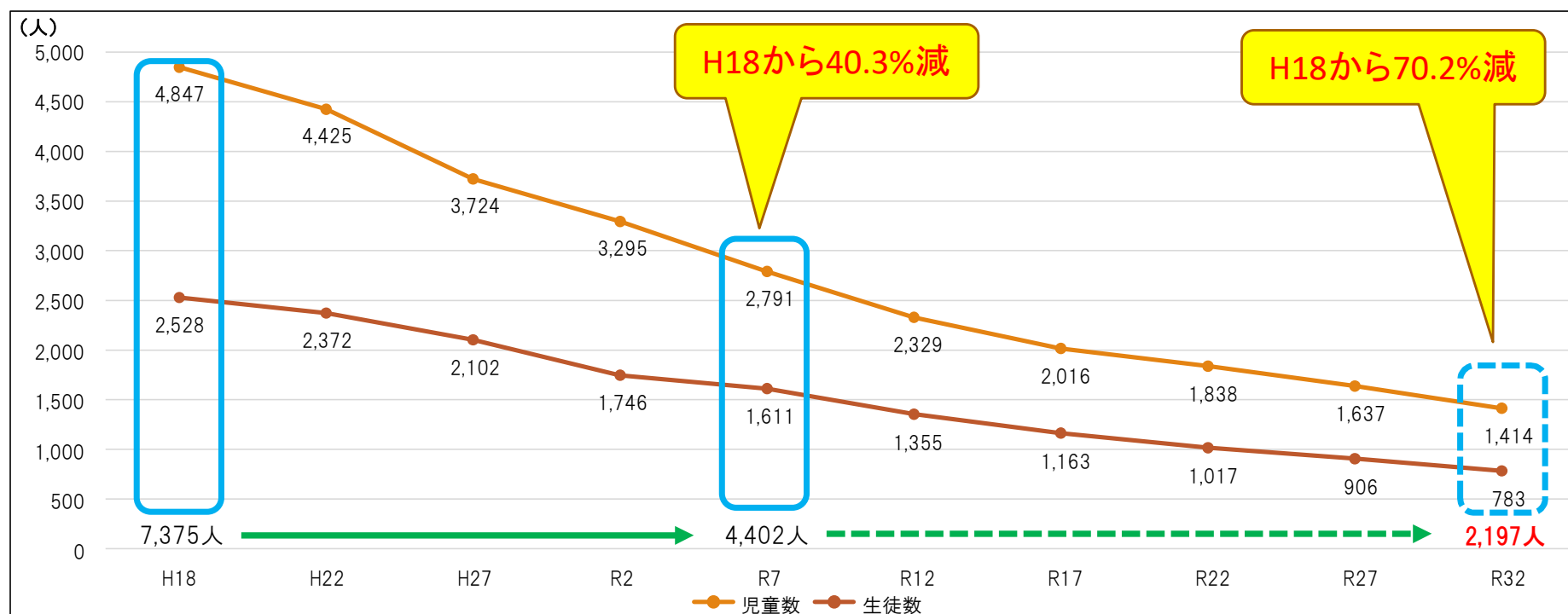
2 渋川市立小中学校の現状

(1) 渋川市の人口の推移と推計



※R2以前は国勢調査実績、R7以降は国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計(全国)を参照し、事務局で作成

(2) 渋川市の児童生徒数の推移と推計



※R7以前は学校教育課「児童・生徒数一覧」に基づく実績値を参照し、事務局で作成
 ※R12は義務教育就学前幼児数調査、R12以降は国立社会保障・人口問題研究所による地域別将来人口推計を参照し、事務局で作成

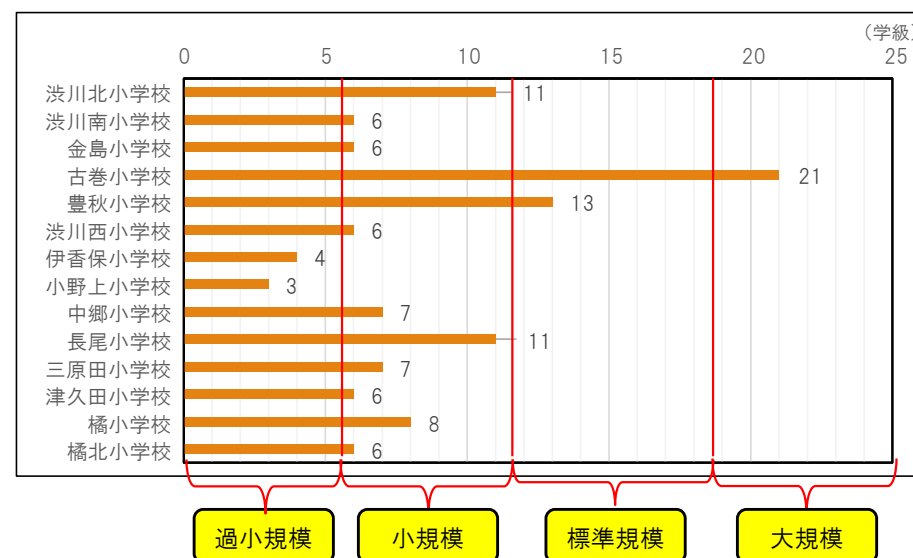
(3) 小学校の状況

①小学校一覧

番号	名称	建築 年度	築後 年数	地区	延床 面積 (㎡)	児童数(人)		学級数(学級)		規模
						通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援	
1	渋川北小学校	S39	61	渋川	7,990	300	18	11	4	小
2	渋川南小学校	H13	24	渋川	5,917	137	7	6	3	小
3	金島小学校	S58	42	渋川	6,421	130	6	6	2	小
4	古巻小学校	S63	37	渋川	7,475	606	18	21	3	大
5	豊秋小学校	S57	43	渋川	6,539	367	15	13	3	標準
6	渋川西小学校	S51	49	渋川	5,294	91	8	6	2	小
7	伊香保小学校	S50	50	伊香保	4,231	29	5	4	2	過小
8	小野上小学校	S61	39	小野上	3,088	13	2	3	1	過小
9	中郷小学校	S56	44	子持	4,964	179	9	7	2	小
10	長尾小学校	S52	48	子持	6,578	256	16	11	3	小
11	三原田小学校	S53	47	赤城	4,595	169	9	7	2	小
12	津久田小学校	S48	52	赤城	3,536	88	6	6	2	小
13	橘小学校	S55	45	北橘	5,751	190	6	8	2	小
14	橘北小学校	S53	47	北橘	3,757	110	1	6	1	小

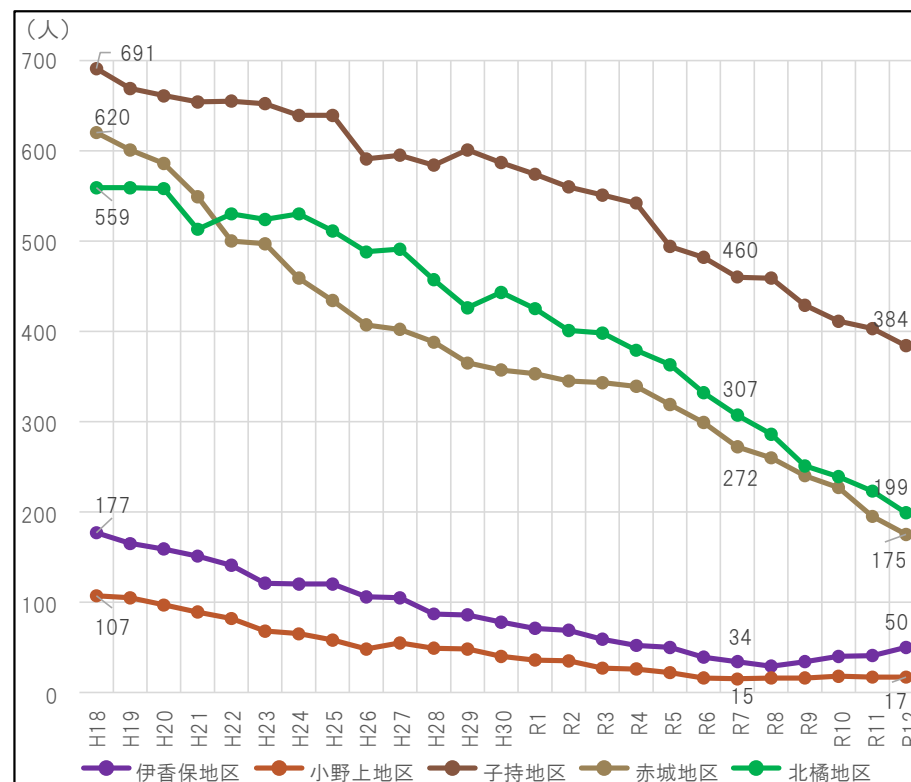
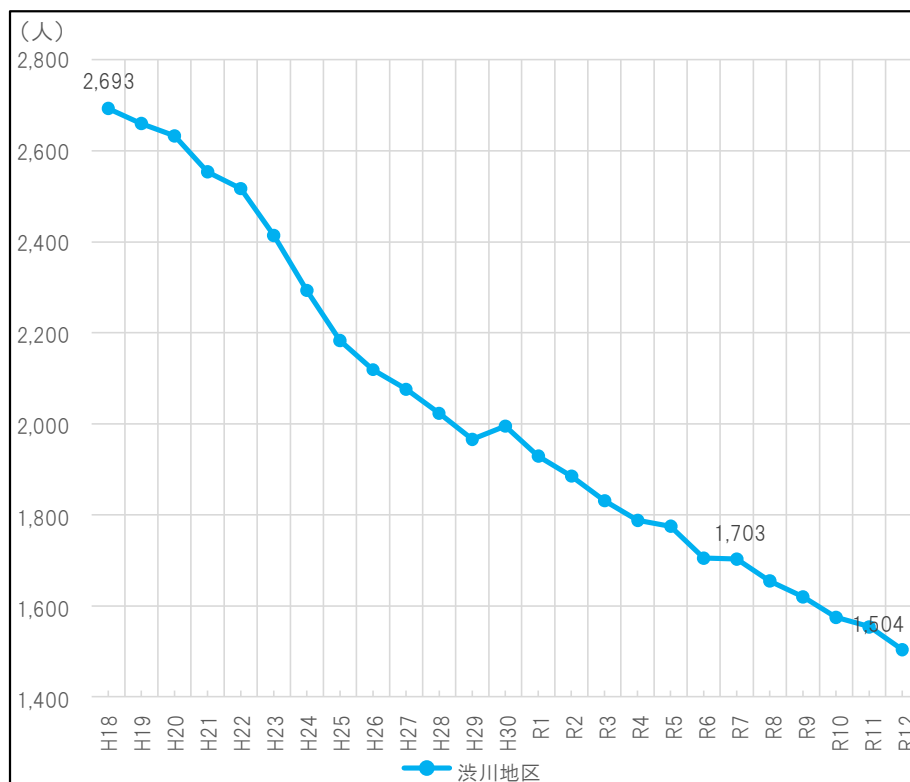
※数値はR7.5.1時点
※敷地内施設のうち主要な校舎を記載

②小学校規模



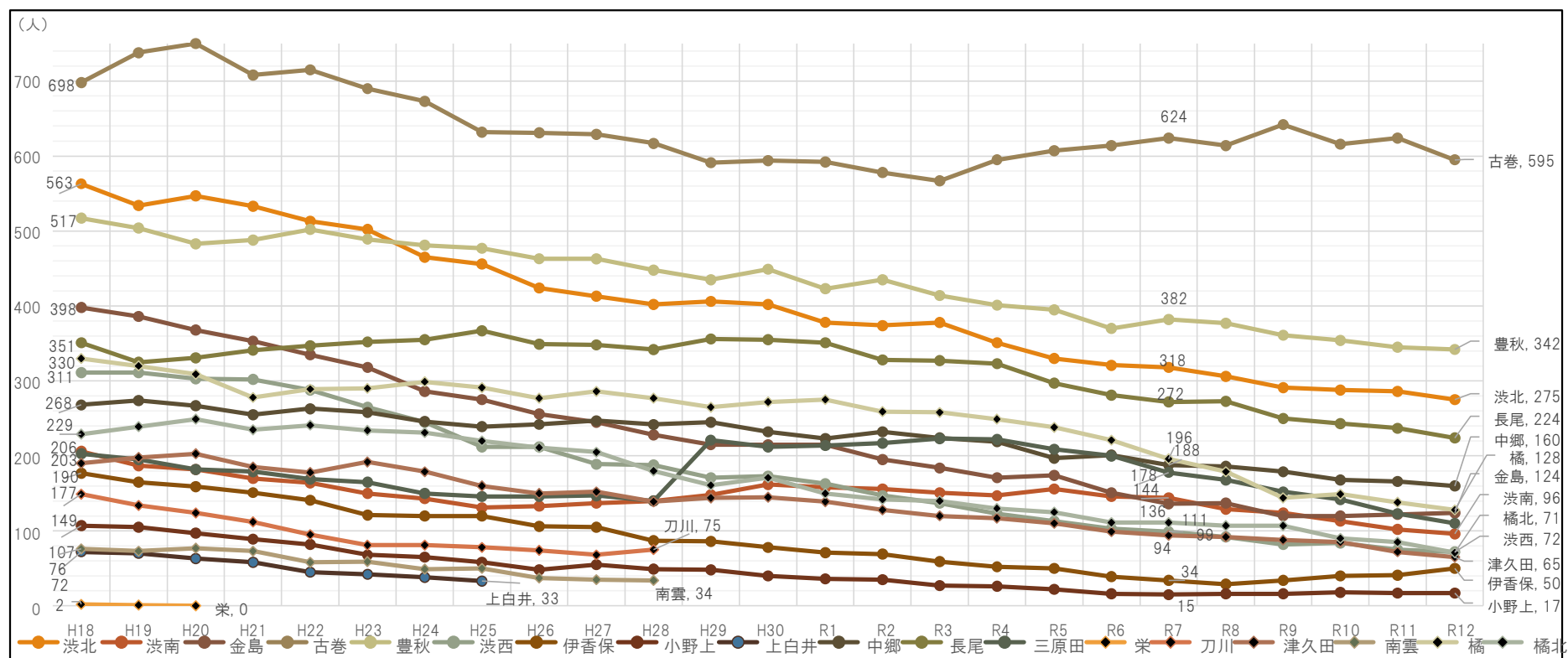
- ・ 築40年以上の学校が11校、うち1校は築60年以上経過しています。
- ・ 全14校中標準規模校は1校、大規模校は1校であり、大部分が小規模校となっています。
- ・ 伊香保小、小野上小については、複式学級が発生しています(過小規模校となっています)。

【参考1】地区別児童(小学生)数の推移及び推計



※R6以前は学校教育課「児童・生徒数一覧」、R8以降は義務教育就学前幼児数調査を参照し、事務局で作成

【参考2】学校別児童(小学生)数の推移及び推計



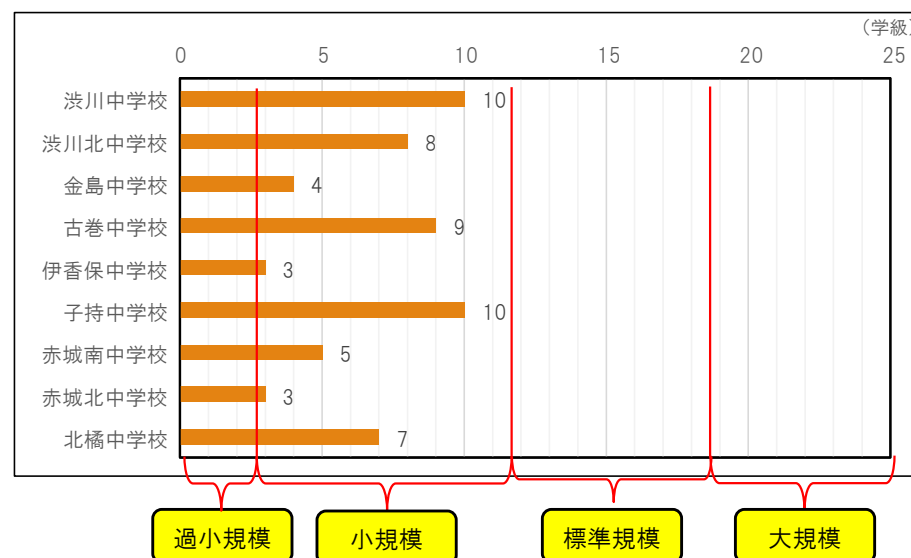
(4) 中学校の状況

①中学校一覧

番号	名称	建築 年度	築後 年数	地区	延床 面積 (㎡)	生徒数(人)		学級数(学級)		規模
						通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援	
1	渋川中学校	S45	55	渋川	7,355	276	5	10	2	小
2	渋川北中学校	S36	64	渋川	7,249	236	13	8	3	小
3	金島中学校	S40	60	渋川	5,285	87	4	4	2	小
4	古巻中学校	S60	40	渋川	6,093	267	12	9	2	小
5	伊香保中学校	S48	52	伊香保	3,962	31	1	3	1	小
6	子持中学校	S46	54	子持	7,708	292	12	10	2	小
7	赤城南中学校	S58	42	赤城	5,671	100	5	5	2	小
8	赤城北中学校	S57	43	赤城	4,747	56	5	3	2	小
9	北橘中学校	S52	48	北橘	8,727	205	4	7	2	小

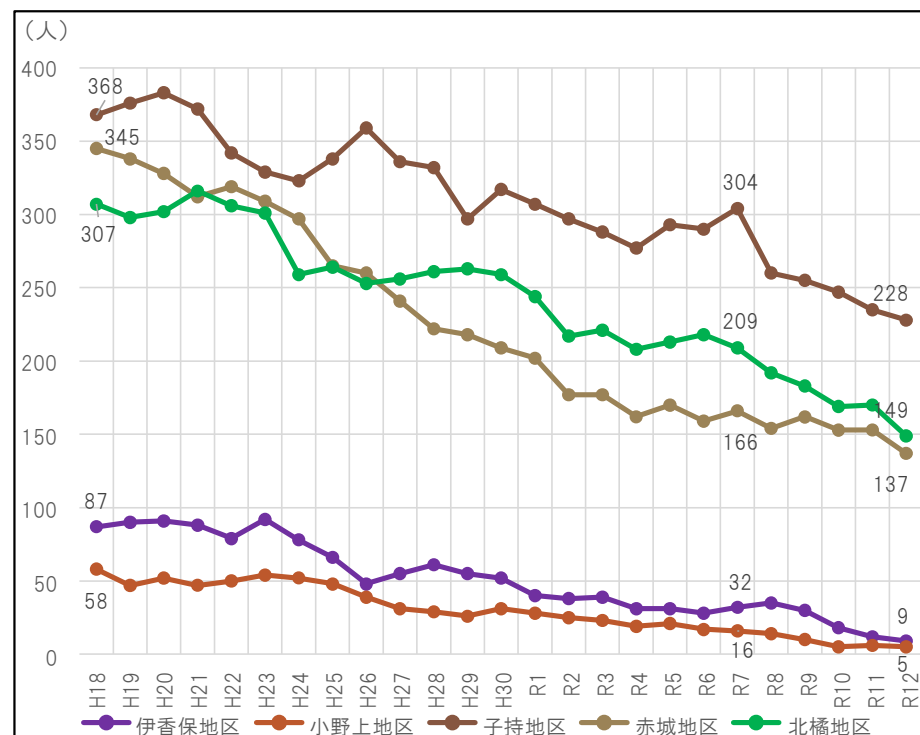
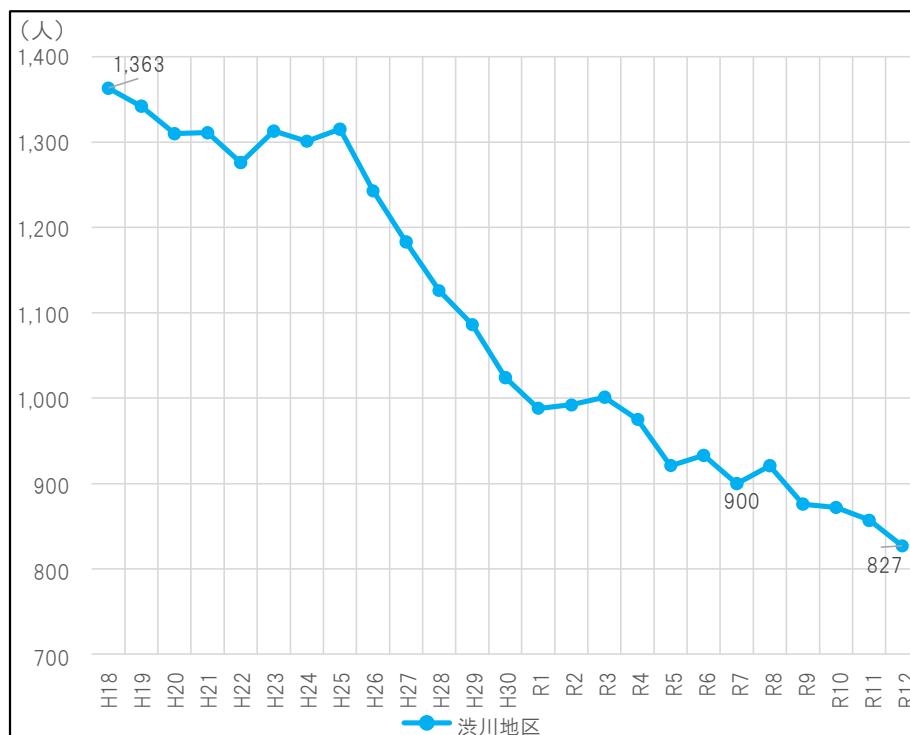
※数値はR7.5.1時点
※敷地内施設のうち主要な校舎を記載

②中学校規模



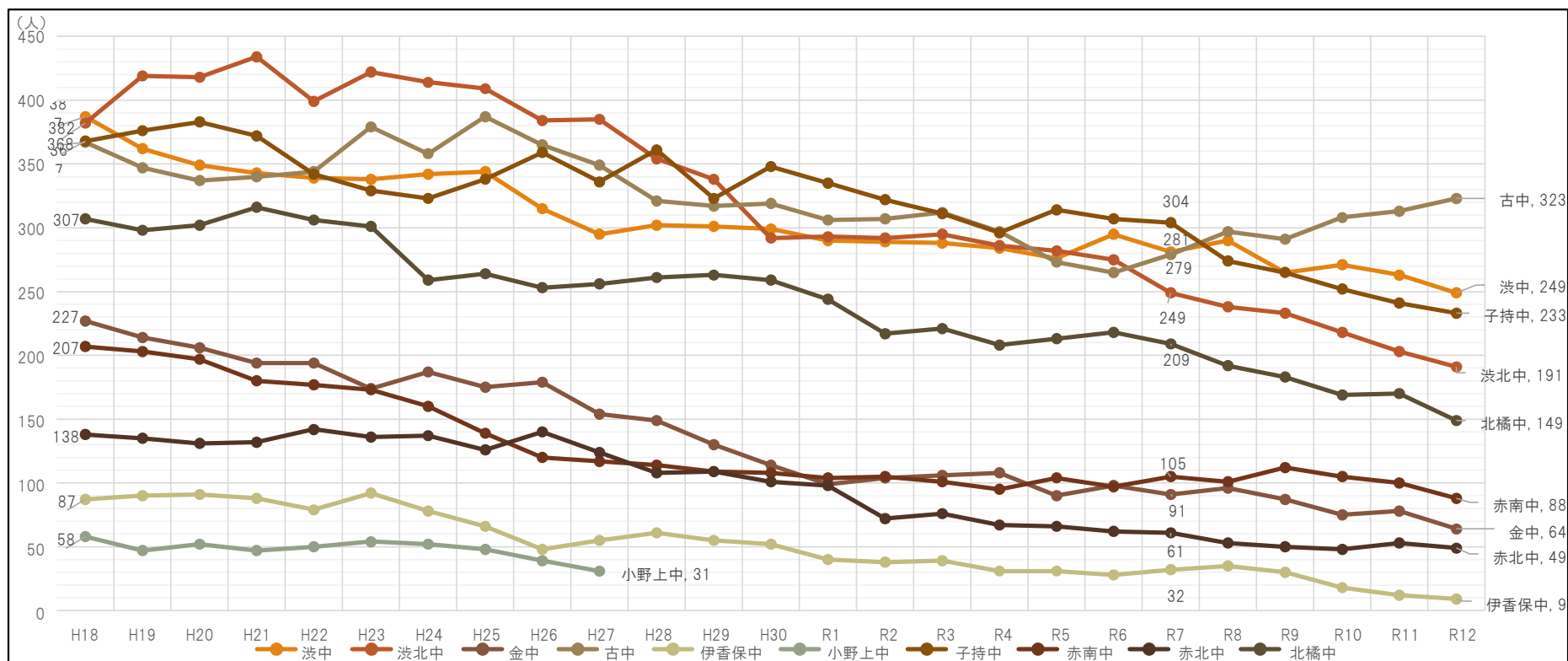
- 9校全てが築40年以上であり、うち2校は築60年以上経過しています。
- 9校全てが小規模校であり、標準規模校以上はありません。
- 伊香保中、赤城北中については、これ以上の学級数減少が生じた場合、過小規模校となる可能性があります。

【参考3】地区別生徒(中学生)数の推移及び推計



※R6以前は学校教育課「児童・生徒数一覧」、R9以降は義務教育就学前幼児数調査を参照し、事務局で作成
 ※小野上中がH27末に子持中と統合したため、H28以降の小野上地区は義務教育就学前幼児数調査を参照し、事務局で作成
 ※子持地区は、小野上地区の生徒を除く

【参考4】学校別生徒(中学生)数の推移及び推計



※R6以前は学校教育課「児童・生徒数一覧」、R8以降は義務教育就学前幼児数調査を参照し、事務局で作成

3 問題・課題と目指す教育

(1) 顕在化している問題・課題

1. 学校での教育面

単学級のためクラス替えができない、多様な見方・考え方に触れる機会が少ない、行事等での制約がある、部活動などの選択肢が少ない又は無い、教職員が少なくなることなどで負担が増えたり学校組織運営が難しくなる 等

2. 学校施設面

建設から相当の年数が経過しており、それに伴い毎年何らかの修繕が必要となっている、また、使い勝手等にも課題がある、改修には多額の費用を要する 等

3. 地域等における課題

自治会や消防団等「地域の担い手」の不足、公共施設やインフラの老朽化、地域コミュニティの希薄化、働き方や家庭環境の変化による子育て世代への影響 等

3 問題・課題と目指す教育 (2) 市が目指す教育の方向性



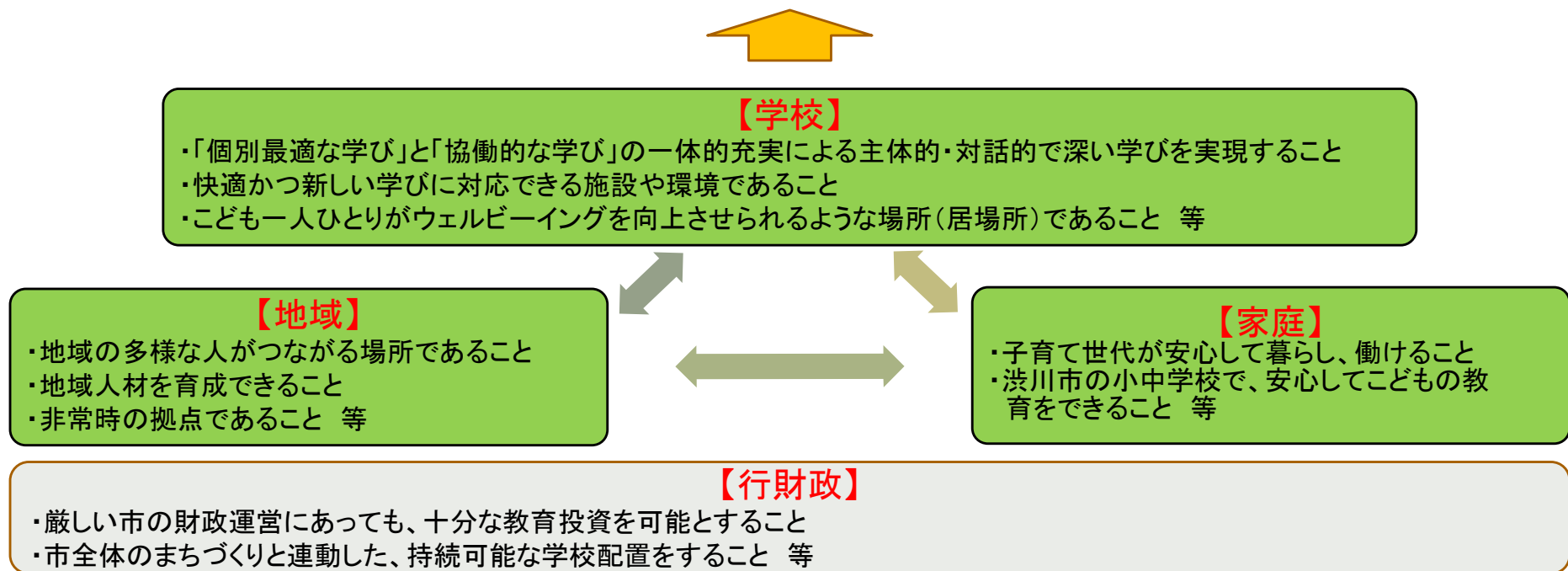
➤ 教育行政方針において定める「確かな学力」「豊かな心」「すこやかな体」をバランス良く兼ね備えた子供の育成に努めます。

➤ 家庭や地域との連携により、地域の特色を生かした魅力ある学校づくりを推進し、ふるさと浜川を愛し、互いを尊重し、思いやりの心を持った子供の育成に努めます。

➤ 令和の日本型教育の構築に向け、学ぶ楽しさを味わえる授業を目指し、子供が自ら学ぶ授業への転換を推進します。

3 問題・課題と目指す教育 (3) 適正規模・適正配置によって実現したいもの

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を兼ね備え、自ら考え、他者との繋がりの中で協働により課題を解決していく、持続可能な社会の担い手たる児童生徒を育成する



4 基本方針における主な検討論点（案）

① あるべき学校像を考える視点

- ◆教育の視点
 - ・基本的な教育の方向性、今後重要性が高まる教育的要素 等
- ◆まちづくりの視点
 - ・防災拠点としての位置づけ、地域コミュニティの中での位置づけ、都市計画上の位置づけ 等
- ◆居場所としての視点
 - ・こどもの居場所としての役割 等
- ◆行財政の視点
 - ・財政的な制約、学校のマネジメント、廃校の活用 等

②学校規模の適正規模・適正配置の基準

- ◆適正規模の考え方
 - ・国の基準の捉え方
 - ・学校規模によるメリット/デメリット
 - ・規模基準と考え方
 - ・適正規模化の対応策 等
- ◆適正配置の考え方
 - ・望ましい通学時間・距離・手段・通学区域
 - ・安全安心な通学方法
 - ・まちづくり（地域）との関係 等

5 今後の検討スケジュール

目 標	・基本方針の検討及び策定 (R7. 4～R8. 3)	・基本計画の検討及び策定 (R8. 4～R10. 3) ・長寿命化計画の改定に係る検討 (R8. 4～)		・基本計画に基づく適正規模化の推進 (R10. 4～)
年 度	R7	R8	R9	R10～
庁内検討委員会	基本方針の検討	基本計画の検討 長寿命化計画の検討		
外部検討委員会	基本方針の検討	基本計画の検討		
地域・保護者等	意見公募 ワークショップ	説明会、学区別検討、ワークショップ等	意見公募	個別協議
備 考	・基本方針は令和7年度末に策定予定 ・庁内検討は、必要に応じて分野別のワーキンググループ等を設置し、個別具体的な検討を実施	・基本計画は令和9年度末に策定予定 ・説明会、学区別検討等は、令和7年度末に策定した基本方針の内容をもとに、各学校の具体的な方向性と方策（再編統合等も含む）に係る対話を行うことを想定		・基本計画に基づき実際に再編統合等を実施

信頼される園・学校経営の推進

- 園・学校経営構想の充実
- 全職員が経営参画に参画する体制の確立
- 教職員の指導力向上とメンタルヘルスの保持
- 生徒指導及び安全管理の徹底・充実
- 地域とともにある学校づくりの推進と積極的な情報発信
- 「共同学校事務室」の設置及び推進
- 幼稚園教育の充実



「確かな学力」の向上

- 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 思考力・判断力・表現力等の育成



「豊かなこころ」の育成

- 人権教育の充実
- 生徒指導の充実
- 道徳教育の充実
- 特別活動の充実



「すこやかな体」の育成

- 体力の向上
- 健康教育の充実
- 安全教育の充実



多様な教育的ニーズ等に対応する教育活動

- 特別支援教育の充実
- ICTを効果的に活用した教育活動の推進
- 教育研究所の充実
- 外国につながる児童生徒に対する教育・支援の充実
- 多様な教育活動の充実
- 部活動の地域連携と段階的な地域移行
- 各種指定等研究の推進・充実



渋川市教育委員会

渋川市 学校教育の充実 資料NO. 2-2

子どもたちが学ぶ楽しさや喜びを味わい、国際的視野に立って共生社会をたくましく生きる力を身に付けるための、魅力ある学校教育の充実を図ります。

渋川市の学校教育

信頼される園・学校経営の推進

「確かな学力」の向上

「豊かなこころ」の育成

「すこやかな体」の育成

多様な教育的ニーズ等に対応する教育活動



家庭や地域との連携を強化し、地域の特色・文化を活かした魅力ある園・学校づくりを推進し、ふるさと渋川を愛し、互いを尊重し、思いやりの心をもった子どもたちの育成に努めます。